

五四 江戸通泰書状寫

謹上

吉田別當

江戸

御同宿中

藤原通泰

追啓

後日之義、翻寶印、以神名可申定候、爰元之義不可有御疑心候、

重而恐々

急度啓進、抑今般於吉田山不慮之儀、單其様御不運、於通泰も不吉

之由存、迷惑何事欵可過之候哉、然者就之御出歩御十分至極候、雖

〔貴力〕

然彼仁無覺悟無余義候之上、任□意身命不覃相助候、不私題目候間、

御門徒中へ有御披露、於其上早々御帰寺可畏入候、何様依彼御返答

中途へ可罷出候、先以使如此申宣候、恐々敬白

十月九日

(江戸)

藤原通泰(花押影)

謹上  
吉田別當御同宿中

## 五四 江戸通泰書状寫

謹上 吉田別當 江戸  
御同宿中 藤原通泰

追啓

後日之義、翻寶印、以神名可申定候、爰元之義不可有御疑心候、

重而恐々

急度啓進、抑今般於吉田山不慮之儀、單其様御不運、於通泰も不吉之由存、迷惑何事歎可過之候哉、然者就之御出歩御十分至極候、雖然彼仁無覺悟無余義候之上、任口意身命不覃相助候、不私題目候間、御門徒中へ有御披露、於其上早々御帰寺可畏入候、何様依彼御返答中途へ可罷出候、先以使如此申宣候、恐々敬白

十月九日

藤原通泰(花押影)

謹上 吉田別當御同宿中

## 分析

なお、原文は「茨城県史料 中世編 II」による。

原文	現代かなづかい風の表記	意味、コメント
五四 江戸通泰書状寫	江戸通泰書状写し	
謹上 吉田別當 御同宿中 藤原通泰		
【ここから追っ手書き】		
追啓		
後日之義、翻寶印、以神名可申定候、	後日の義、宝印を翻(ひるがえ)し、 神名をもって申し定むべく候	後日の義……今後の事について、ということか 宝印を翻し……起請文を書くこと。牛玉宝印(ごおうほういん)という護符 の裏に誓約の文章を書くしきたりがある(*1)。つまり、此の書状は誓約 書の性格を持つ。 神名をもって申し定む……神に誓って申し定める、破ることがあれば神の 罰が下ることになる、と宣言している
爰元之義不可有御疑心候、	ここもとの義、御疑心あるべからず 候	当方に対しては、お疑いのないように、ということか。 ・爰元……ここもと、としたが、通常"ここもと"は、此處許とか爰許と書 く。
重而恐々	重ねて恐々	
【ここから本文】		
急度啓進	きっと啓進	急度(きっと)……急ぎ
抑今般於吉田山不慮之儀、單其様御不運、於通泰も不吉之由存、	そもそも今般の吉田山における不慮 の事、ひとえにそのまま御不運、通 泰に於いても不吉の由に存ず	そもそも今般の吉田山における不慮(火災)の事、その様子はひとえに御不 運であり、通泰に於いても不吉であります
迷惑何事可過之候哉、	迷惑何事かこれに過ぐべく候か	迷惑なこと、これ以上のことはありません ・「不慮之儀」、「御不運」とあり、ここで、「迷惑」とある。吉田山に

		ついてであるから、本堂が火災になった事に触れているのであり、この表現からは、火災の原因が戦(いくさ)とか、意図した放火などではなく、広い意味での失火の様に感じられる。たとえば、寺内での失火、近家からの類焼、野火の延焼、あるいは落雷などである。
然者就之御出歩御十分至極候、	然ればこれについての出歩きは十分しごくに候	「出歩」の意味が分らない。この文以降は意味が取れない。50 番の文書(掲写し)にも、「御造営の間、御出であるまじきこと」とある。
雖然彼仁無覺悟無余義候之上、任口意身命不覃相助候、	しかれども、かの仁に覺悟なく余義なく候の上は、貴意に任せ、身命に及ばず相助け候	「彼仁」が誰を指すのか不明で、この文章は分らない。 ・身命に及ばず相助け候……身体、生命をかけてもお助けします
不私題目候間、御門徒中へ有御披露、	わたくしせざる題目に候間、御門徒中へ御披露あれ、	個人にかぎってはならない事柄なので、門徒の方々へも御披露願いたく
於其上早々御帰寺可畏入候、	其の上に於いては、早々の御帰寺おそれ入るべきに候	其の上、早々の寺への御帰り、恐縮に存じます
何様依彼御返答中途へ可罷出候、	いかさまのかの御返答に依りては、中途へ罷り出づべく候	返事の内容に依っては、途中まで(私が)出てまいりましょう
先以使如此申宣候、	まずもって、かくのごとく申しのべせしめ候、	(使者をつかわして)上記の様に申し述べさせます、というニュアンスか。
恐々敬白	(決まり文句)	
十月九日 藤原通泰(花押影)		・年の記載がない。念を推定する手掛かりは特に見当たらない。
謹上 吉田別當御同宿中	謹上 吉田別當御同宿中	謹んで申し上げる。吉田別當様ならびに寺住みの方々へ ・同宿……同じところに住んでいる人 ・中……複数の人々(複数)を尊敬している言葉

(\*1) 長尾為景起請文 中条家文書データベース 山形大学 <http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/mainlib/rarebooks/nakajo/nakalink.php?key=227>